

株主の
皆様へ

『磐梯山』

磐梯山は、その美しく雄大な姿から「天に掛かる岩の梯子」を意味する「いわはしやま」と呼ばれ、古くから山岳信仰の対象とされてきました。

万葉集には「会津嶺」と詠われ、別名「会津富士」とも呼ばれております。その雄大さ、気高さにより、「慧日寺」に代表される会津の仏教文化の発祥の山として、広く会津の人々から崇められ、心のよりどころとされている霊峰です。

磐梯山は、自然、景観、歴史、文化のどれをとっても素晴らしい「宝の山」であり、未来へ引き継ぐべき貴重な財産とされています。

第52期第2四半期

株主通信

2019年 春号

2018年10月1日から
2019年3月31日まで

【個人投資家の皆様へ】

詳しくはホームページをご覧ください。



ふくしまから
はじめよう。



株式会社アサカ理研

Top Message

代表取締役社長 **山田 慶太**



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2019年9月期第2四半期における当社の事業概況、および今後の見通しについてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出において一部弱さがみられるものの、雇用・所得環境が改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続きました。

一方、米中貿易摩擦を背景とした中国経済の減速や英国のEU離脱問題など、海外における経済動向と政策に関する不確実性が懸念されることから、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要な取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産は、スマートフォン市場の生産調整、中国経済の減速等により前年を下回りました。

また、貴金属・銅の価格は主に米国金利の上昇、中国経済の減速等により前年を下回りました。

既存事業では、既取引先の深耕や新規開拓と共に、貴金属材料の供給や光触媒の販路拡大を進めるほか、製造工程の自動化・ロボット化等の効率改善に取り組みました。

レアメタル事業では、リチウムイオン電池等に使用されるレアメタルのリサイクルおよび原料化に注力しており、第3四半期からの試作量産品出荷に向けての体制構築に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間では、売上および利益で当初予想を上回りましたが、通期の業績では、電子部品・デバイス工業分野の減産による影響など、当社にとって厳しい環境が継続すると見込んでおります。

当社では、企業体質の強化として取り組む製造工程の自動化をはじめとした効率改善と、新たな技術開発により事業基盤の強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

【当第2四半期連結累計期間は増収減益】

当第2四半期連結累計期間では、売上高は、主力の貴金属事業における主要取引先である電子部品・デバイス工業分野の生産減少の影響を受け、同分野からの貴金属取扱量とレアメタルの販売量は予想を下回りましたが、他の分野からの貴金属取扱量は増加し、貴金属・銅の価格が予想を上回ったことから、4,900百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

利益面では、貴金属・銅の価格が予想を上回ったほか、製造工程の自動化等の生産効率改善や、電子部品・デバイス工業分野の生産減少の影響が長期化すると見越して経費の削減を実施したことにより、当初予想を上回り、営業利益は132百万円（同44.5%減）、経常利益は133百万円（同46.7%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円（同49.9%減）となりました。

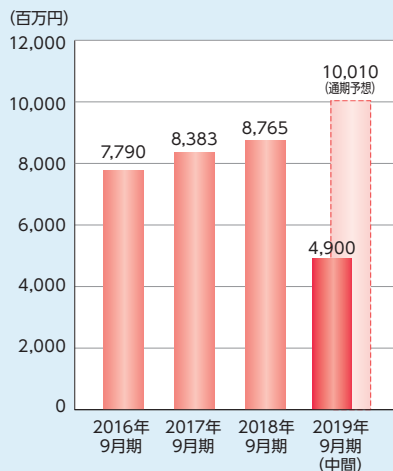
【業績の見通しについて】

売上高は、貴金属事業において、高品位貴金属の売買取引の増加と、貴金属相場の高い水準での推移が続いており、当初予想を上回る見込みです。利益面では、当初予想を下回る見込みとなっております。貴金属事業において、電子部品・デバイス工業分野の減産による影響が継続し、さらに一部では生産調整が拡大しております。

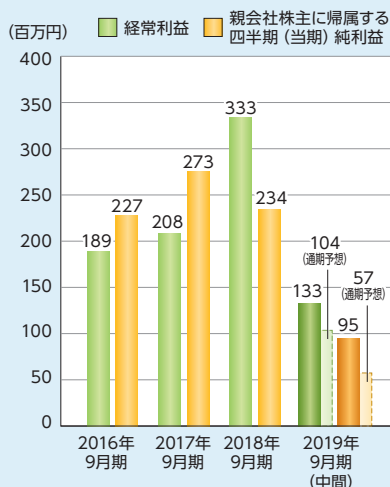
これにより、同分野からの貴金属取扱量が減少する見込みであること、スマートフォンに使用する高純度酸化タンタルをはじめとするレアメタルの需要も低迷が継続する予想であること、リチウムイオン電池等に使用されるレアメタルのリサイクルおよび原料化の研究開発を推進する、などの理由により、下期は経常利益で赤字の見通しです。

以上から、通期の連結業績は当初予想から増収・減益となる、売上高10,010百万円（当初予想から14.5%増）、経常利益104百万円（当初予想から55.9%減）に修正し、2019年4月26日に発表しております。

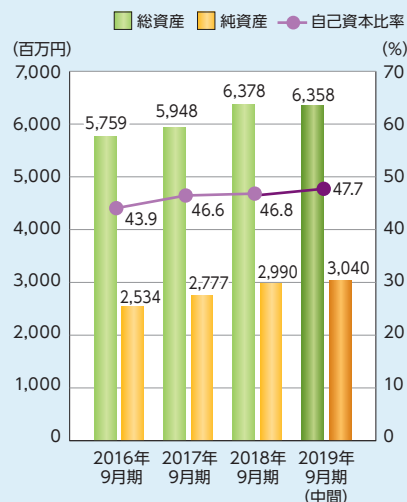
■ 売上高



■ 経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■ 総資産、純資産、自己資本比率



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (2019年3月31日)	前期末 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184	1,210
受取手形及び売掛金	454	452
棚卸資産 ①	1,328	1,112
その他	62	242
固定資産		
有形固定資産	2,989	2,995
無形固定資産	54	23
投資その他の資産	273	295
資産合計	6,358	6,332

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (2019年3月31日)	前期末 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債	2,166	2,060
固定負債	1,150	1,281
負債合計 ②	3,317	3,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	504	504
資本剰余金	354	354
利益剰余金	2,175	2,117
自己株式	△ 9	△ 9
その他の包括利益累計額	10	18
新株予約権	1	1
非支配株主持分	4	4
純資産合計	3,040	2,990
負債純資産合計	6,358	6,332

Point ①

資産の部では、主に貴金属事業における在庫増を要因として、棚卸資産が216百万円増加しております。

Point ②

負債の部では、主に借入金が91百万円減少しております。

Point ③

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益の127百万円、減価償却費の119百万円です。
主な支出要因は、棚卸資産の増加額217百万円です。

Point ④

主な支出要因は、有形固定資産の取得による89百万円、無形固定資産の取得による37百万円です。

Point ⑤

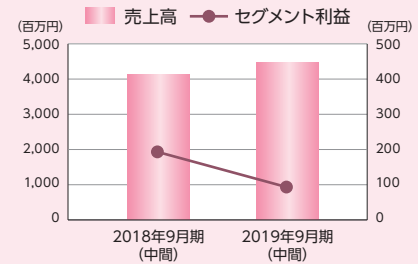
主な支出要因は、長期借入金の返済の150百万円、配当金の支払額の38百万円です。
主な収入要因は、短期借入金の純増額83百万円です。

主なセグメントの状況

貴金属事業

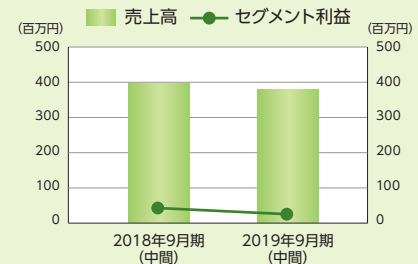
販売価格は前期を下回りましたが、貴金属全体での取扱量増加により、売上高は増加しました。

セグメント利益は販売価格が下落したことで減少となり、売上高は4,461百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益は97百万円（同49.0%減）となりました。



環境事業

主力製品である銅ペレットおよび無機薬品の販売数量は前期を上回りましたが、銅の販売価格が前期を下回り、売上高は379百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益は24百万円（同44.0%減）となりました。



■ 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 (2018年10月1日~ 2019年3月31日)	前第2四半期 (2017年10月1日~ 2018年3月31日)
売上高	4,900	4,576
売上原価	4,060	3,659
売上総利益	840	916
販売費及び一般管理費	707	678
営業利益	132	238
営業外収益合計	30	25
営業外費用合計	29	14
経常利益	133	250
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	127	250
法人税等合計	32	56
四半期純利益	95	193
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	95	191

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 (2018年10月1日~ 2019年3月31日)	前第2四半期 (2017年10月1日~ 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	221	244
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 136	△ 136
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△ 109	△ 120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 26	△ 8
現金及び現金同等物の期首残高	579	627
現金及び現金同等物の四半期末残高	553	618

レアメタル・レアアースの研究開発を推進しています。

レアメタルは電子部品およびハイテク製品、新素材等の成長分野において使われる量が増加していますが、日本国内でのリサイクルが十分になされていない点が課題となっています。

当社は、2014年に福島県いわき市にレアメタル・レアアースに関する研究開発拠点を新設して以来、得意とする金属の抽出・精製技術を駆使して、スクラップの再資源化、原材料への製品化技術の開発を進め、回収率の向上、処理コストの低減効果に加え、環境負荷の軽減を目指しています。

当社のレアメタル製品は、光学ガラス向けと電子部品向けにそれぞれ販売を開始しています。現在は、今後需要の増加が予測されるリチウムイオン電池等に使用されるレアメタルのリサイクルおよび原料化の研究開発を推進しています。

レアメタル・レアアースのリサイクル・材料化技術の開発を進め、最先端部品への材料供給により、新たな事業の柱として収益基盤の拡大を目指します。



技術開発の推進に知的財産を活用しています。

当社のコア技術は、高度な選択的剥離技術、効率的な回収技術、そして世界でもトップレベルの洗浄技術です。資源リサイクルに対する経済的・社会的重要性がより一層増しているなか、貴金属やレアメタル・レアアース等の限りある資源の有効活用という社会的使命を果たすため、技術者の育成を通して技術開発に努めています。

1978年に金の精製法に関する特許を取得して以来、製造方法や製造装置等に関する様々な特許を出願してきました。2012年4月、産業財産権利制度の発展に貢献したとして、特許庁長官より「特許活用優良企業」の表彰を受けています。2019年3月までに、日本国内41件、海外延べ22カ国に26件の特許を出願しています。直近3年間では4件が成立し、10件が出願中です。

当社は、技術開発型企業として成長を続けていくために、引き続き知的財産を重要な経営資源のひとつと位置付け、積極的な知的財産活動を推進してまいります。

Information (2019年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	1969年8月25日
資本金	504,295,600円

事業内容

- ①貴金属事業 / 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理および販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生および販売
- ②環境事業 / 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売、光触媒の製造・販売
- ③システム事業 / 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発および販売
- ④その他の事業 / 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役員

代表取締役社長	山田 慶太
取締役執行役員	佐久間良一
取締役執行役員	山田 浩太
取締役	佐久間幸雄
取締役(監査等委員長)	野納 敏展
取締役(監査等委員)	熊谷 巧
取締役(監査等委員)	三崎 秀央

(注) 取締役(監査等委員)熊谷巧氏および三崎秀央氏は、社外取締役であります。

株式の状況

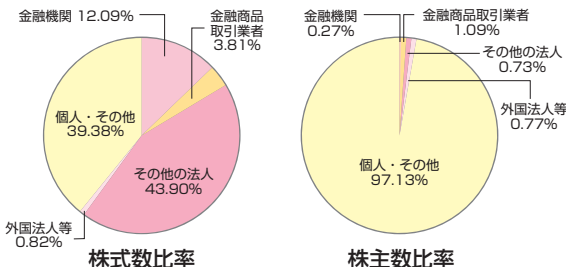
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式17,161株を含む)
株主数	2,198名

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	1,051,030	41.13
株式会社常陽銀行	90,000	3.52
株式会社東邦銀行	81,100	3.17
日本生命保険相互会社	72,500	2.84
白岩政一	70,100	2.74
竹内信彦	50,800	1.99
第一生命保険株式会社	50,000	1.96
東京中小企業投資育成株式会社	50,000	1.96
アサカ理研社員持株会	27,100	1.06
株式会社SBI証券	20,198	0.79

(注) 当社は自己株式(17,161株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(17,161株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日	同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-49-7009(通話料無料)
定時株主総会	毎年12月	上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



裏磐梯

神秘的な湖沼群や清流など、自然が創りだした景勝地

1888年(明治21年)に磐梯山の山頂北側に水蒸気爆発によって山体崩壊を起こし、岩なだれが川をせき止め、数百もの湖沼がこの時に形成されました。松原湖、秋元湖、小野川湖をはじめ、それらに挟まれるように位置する数十の湖沼群が「五色沼」です。

磐梯山南側の表磐梯は整った形をしています。北側の裏磐梯は、表磐梯と一変して山体崩壊の跡が残る荒々しい姿を見せています。

福島の旅が丸わかり!!

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）

TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087